

## 2 SEEE永久グラウンドアンカー工法 (タイプアンカーA型、U型、M型)

審査証明依頼者：株式会社エスイー  
 審査証明書発行日：平成16年8月10日

ンカーM型は、耐荷体長を長くすることによりアンカー引抜き抵抗力を大きくすることができ、第三紀の岩盤や粘性系地盤など拘束力の小さい地盤に適用することができます。

図5に本工法の各タイプの断面図を示します。

### 1) SEEE永久グラウンドアンカー工法の概要

SEEE永久グラウンドアンカー工法は、砂防・地すべり分野に有効な永久アンカーとして開発されました。

本工法は反力構造物（受圧板等）と地山を一体化させて安定させる圧縮型の永久アンカー工法で、設計荷重156.6kN～2086.2kNの範囲で使用することができ、再緊張などの荷重管理をはじめとする維持管理に優れた構造を持っています。また、タイプア



図4 タイプアンカーM型イメージ図

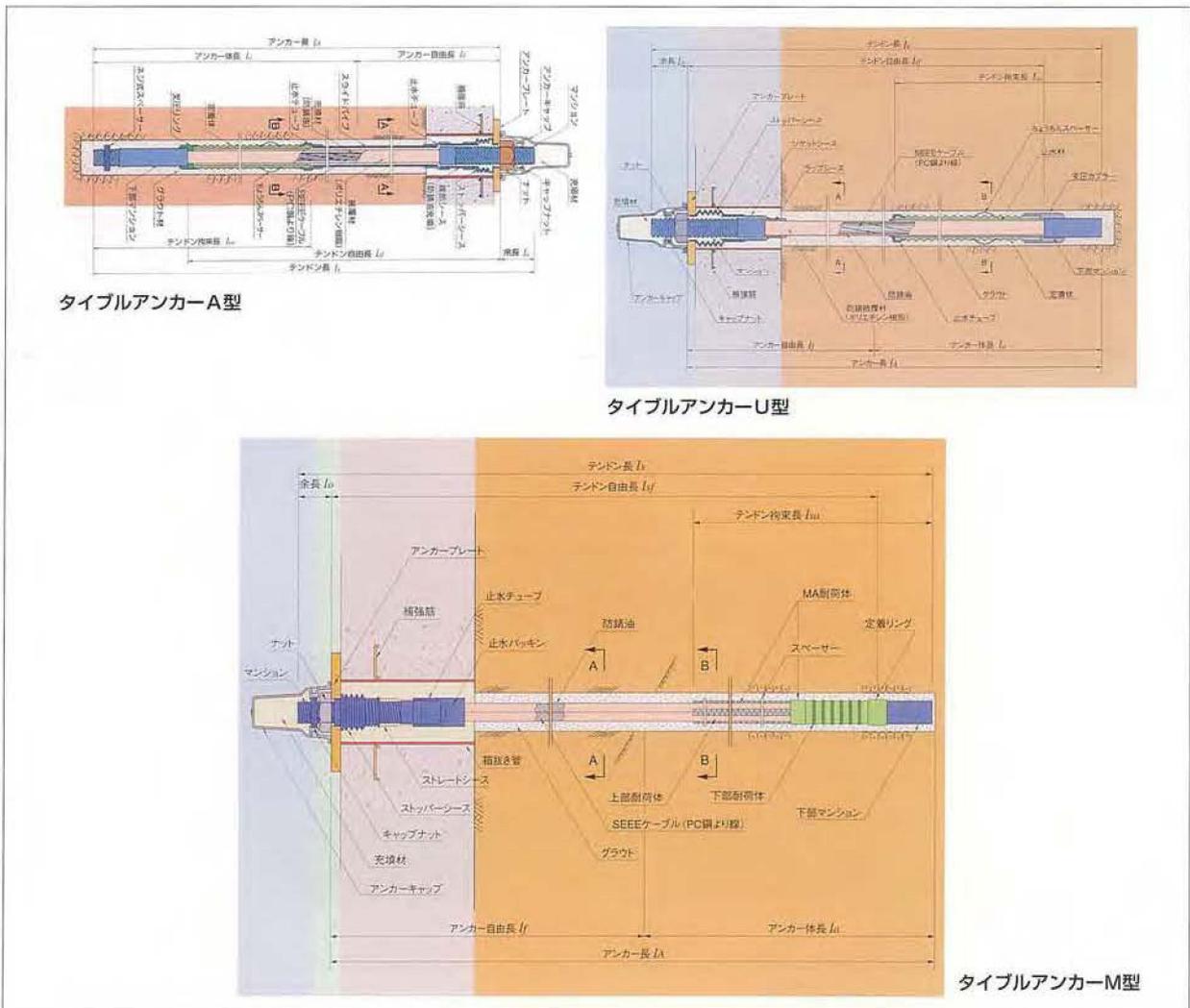


図5 タイプアンカー各タイプの断面図

2) SEEE永久グラウンドアンカー  
工法の特徴と審査証明の結果の概要

SEEE永久グラウンドアンカー工法の主な特徴を以下に示します。

永久アンカーとしての耐久性について

アンカー鋼材は、全長にわたり、防錆油、ポリエチレン樹脂による二重防食加工を施しており、高い耐久性・防食機能を有しています。

また、定着具がねじ式であり、定着が確実で、再緊張・緊張力緩和・除荷といったメンテナンスを容易に行うことができます。

審査証明では、材料的、構造的に本アンカーは長期にわたり耐久性を保持できると認められました。

アンカー各タイプのメリットについて

タイプルアンカー A型、U型、M型の選定基準は

図7のとおりです。地盤状況や経済性を考慮して適用するアンカーを決定します。

特にタイプルアンカーM型は、第三紀の泥岩・シルト岩・凝灰岩等膨潤やスレーキングを生じやすい岩盤や粘性系地盤など拘束力の小さい地盤において、図8に示すように、耐荷体長を長くすることにより応力の集中を防ぐため、アンカー引抜き抵抗力を大きくすることができます。

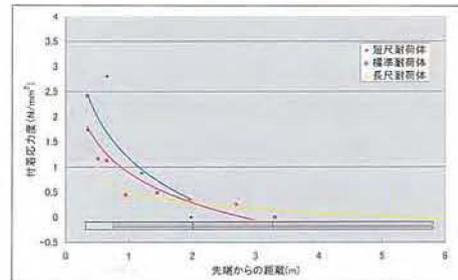


図7 引抜き荷重T≒350kN時の耐荷体付着応力分布

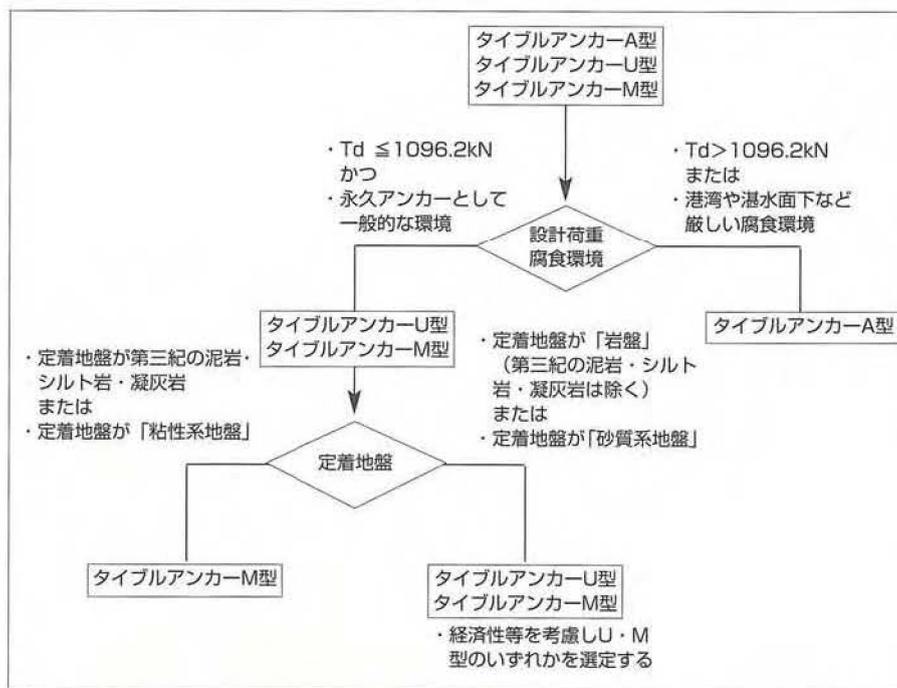


図6 タイブルアンカー選定基準



写真3 SEEE永久グラウンドアンカー工法(タイプルアンカーA型)現場施工例